

海のゴミから

人間と海の関わりを考えよう！

ポイ捨てされたゴミが、川をつたって、海岸へ



引用元: 愛知県海岸漂着物学習サイト
URL: http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/coming_from.html

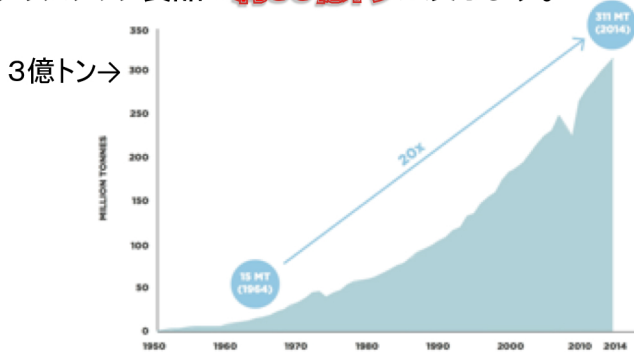
海には**大量のゴミ**が溜まっています。

特に**プラスチックのゴミ**がたくさんあります。ペットボトル等、人々の生活で使用された物がゴミとなって**海**に流れ込んでいます。

適切に処理されれば、海に流れていくことはありませんが、キチンと捨てられずに、道端などにポイ捨てされたゴミは、風や雨に流されて、直接または側溝などを通して、**川**に入ります。そして、やがては海まで流されていきます。

海に流入するプラスチックゴミの量は
年間約500~1300万トン

世界のプラスチック生産量は、**年間約3億トン**まで増加しました。そのうちの約1.5%~5%が、ゴミとして流出していることとなります。**2015年までに**すでに生産されたプラスチック製品は**約83億トン**に及びます。



世界のプラスチック生産推移 (1955~2014年)

引用元: World Economic Forum

URL: http://www3.weforum.org/docs/WEF_The_New_Plastics_Economy.pdf

プラスチックゴミはどこへ？



Marine litter from the Krill Trench (depth 7120–7138 m) on a tray 60 cm long and 40 cm wide
千島海溝 (水深 7120-7138 m) で採取された海ごみ
引用元: M. Shimanaga, K. Yanagi ; J Oceanogr (2016) 72:895–903

マイクロプラスチック等のプラスチックゴミは、海に流出したと考えられている量に比べて、海に浮かんでいるプラスチックゴミの見積量が極端に少ないことが分かっています。

では、プラスチックゴミはどこへ行ったのか？

一つの可能性として、**深海**を含む**海底**に沈んでいるのではないかと考えられています。マイクロプラスチック等に**微生物**が付着すると**凝集体**を形成し、重くなって海底に沈むのではないかとこの研究があります。

また、サイズが小さすぎて観測できていないプラスチック粒子がたくさん存在していることも考えられます。

海ゴミには流木等の自然のゴミも多いのですが、それらは比較的短時間で分解されます。

しかし、**プラスチックゴミ**は適切な処理されず海に流出してしまうと、いつまでも**分解されない**ので、長い年月がたっても海の中に留まり続けます。

このまま海への流出が続けば、**海のゴミは増加し続ける**ことになります。



1990年10月に、大雨の後、相模湾の沖合で観察されたゴミの帯です。水深0~10メートルぐらいの層で、2キロぐらいの帯状になって漂っていました。

私達の生活と繋がっている海のゴミのことを考えていきませんか？